

平成17年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2273
事業コード		事務事業名	都市計画道路豊岡・大塚線整備事業	
根拠法令等	都市計画法、道路法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道路

②事務事業の内容

対象(受益者)	国道23号の慢性的な渋滞の解消を図るため
手 段	中央バイパスの一部の車両を受け持つ位置にある都市計画道路を整備することにより
想定する成果	23号の慢性的な渋滞の解消広域道路に関連する地域道路網の整備の充実が図られる。

③事業の概要 (累積事業量(金額) / 総事業量(金額))

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
用 地	45,286㎡ / 69,567㎡	45,286㎡ / 69,567㎡	45,286㎡ / 69,567㎡
補 償	61件 / 74件	61件 / 74件	61件 / 74件
工事費 (委託費含)	549,840 / 4,066,507千円	561,004 / 4,066,507千円	561,004 / 4,066,507千円

④成果指標

	①	②
成果指標名	事業進捗率	—
成果指標の説明	累積実績事業費 / 総事業費 × 100	—

⑤事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	33.4%
	実績	33.1%	33.4%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	—	—
事業費	事業費	76,173	11,164	0
	人件費	1,607	2,494	0
	(人数)	0.2	0.3	0.0
	合計	77,780	13,658	0
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	77,780	13,658	0

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	財政難による事業進捗に遅れ
経済効率性	1	1	事業凍結により投資効果が出ない
事務効率性	2	2	財政難により18年度から凍結
必要性	3	3	蒲郡東部地域の路線増加により渋滞の緩和を図る
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	地域開発委員会との協力による交渉の効率化
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	この路線内には300mと700mのトンネルが2本あり総事業費が膨大である。近年の当市の財政難の情勢下では凍結せざるを得ない。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
第3工区においては豊岡三谷地区の農業基盤整備と併行させ、用地確保の事務効率の向上を図った。第1工区では地区開発委員会と協力し、用地取得に取り組んだ。	

⑧今後改善すべき点

県事業（県道昇格）として事業を継続する方法を模索

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2285
事業コード		事務事業名	市道軒山砂田1号線整備事業	
根拠法令等	都市計画法、道路法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道路

②事務事業の内容

対象(受益者)	広域的交通が増加しており、渋滞の解消を図るため
手 段	県道豊岡三谷港線から都市計画道路豊岡線間で市道を整備することにより
想定する成果	慢性的な渋滞の解消と道路網の整備充実を図る。

③事業の概要 (累積事業量(金額) / 総事業量(金額))

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
用 地	2,887㎡ / 3,983㎡	3,983㎡ / 3,983㎡	3,983㎡ / 3,983㎡
補 償	5件 / 7件	7件 / 7件	7件 / 7件
工事費 (委託費含)	234,626 / 357,496千円	295,497 / 357,496千円	357,496 / 357,496千円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累積実績事業費 / 総事業費 × 100	

⑤事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画			100.0%
	実績	65.6%	82.6%	
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	32,429	60,870	62,000
	人件費	5,143	4,826	5,092
	(人数)	0.64	0.6	0.6
	合計	37,572	65,696	67,092
財源内訳	国			
	県	12,500	29,000	31,000
	市債			
	その他			
	一般財源	25,072	36,696	36,092

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	16年度の予算繰越分を含め、用地を取得した。
経済効率性	2	2	予算に見合った効果があった。
事務効率性	2	2	担当した時間、人数に見合った効果があった。
必要性	3	3	247号の中央バイパスが整備され通過道路的な要素はなくなったが五井から豊岡に抜ける道路として必要である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	地権者並びに地元の協力を得るため、地区道路建設委員会を立ち上げ事業を推進してきた。予算確保の遅れもあったがようやく地権者の協力も得られ、工事を残すのみとなった。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	都市計画道路蒲郡環状線の一部であり、市内の慢性的交通状態を緩和し、地域の生活環境の向上が図られる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成5年度から続けてきた事業であるが平成18年度の計画工事分の終了により総て完了となる予定である。	

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】